

佐渡の偉人である益田孝の人柄と功績に触れていただくお茶席を
史跡佐渡奉行所跡で開催いたします。

2024

佐渡鈍翁茶会

総合監修 一般社団法人 茶道文化振興会 理事長 **北見 宗幸**

開催 令和6年10月19日(土)・10月20日(日)

会場 史跡佐渡奉行所跡

定員 300名(各回20名×15回)
会費 6,000円(薄茶2席 点心付)

史跡佐渡奉行所跡



写真提供：小田原市郷土文化館

益田孝(ますだたかし 1848～1938)は相川出身で、近代日本を支えた代表的総合商社 旧三井物産の初代社長です。
茶人・美術品収集家としても高名で、鈍翁(どんのう)と号し、「千利休以来の大茶人」と讃えられました。
益田孝の功績を讃えるため、益田孝の父 鷹之助が務めた佐渡奉行所を会場として「佐渡鈍翁茶会」を開催いたします。

金脈の発見により佐渡は天領(幕府の直轄地)となり、江戸幕府は1603年、相川に「佐渡奉行所」を置いた。佐渡奉行所には、金銀山の管理と行政を行う役所(御役所)と、金や銀を選鉱する工場(勝場(せりば))、奉行の住まい(御陣屋)がありました。復元した奉行所は平成13年から、勝場は平成16年から公開しています。

茶席会場



点心



※写真は令和5年度 鈍翁茶会の点心です

【受付開始】4月頃予定 ※決定次第、佐渡市ホームページ等でお知らせいたします。
～ご参加をお待ちしております～